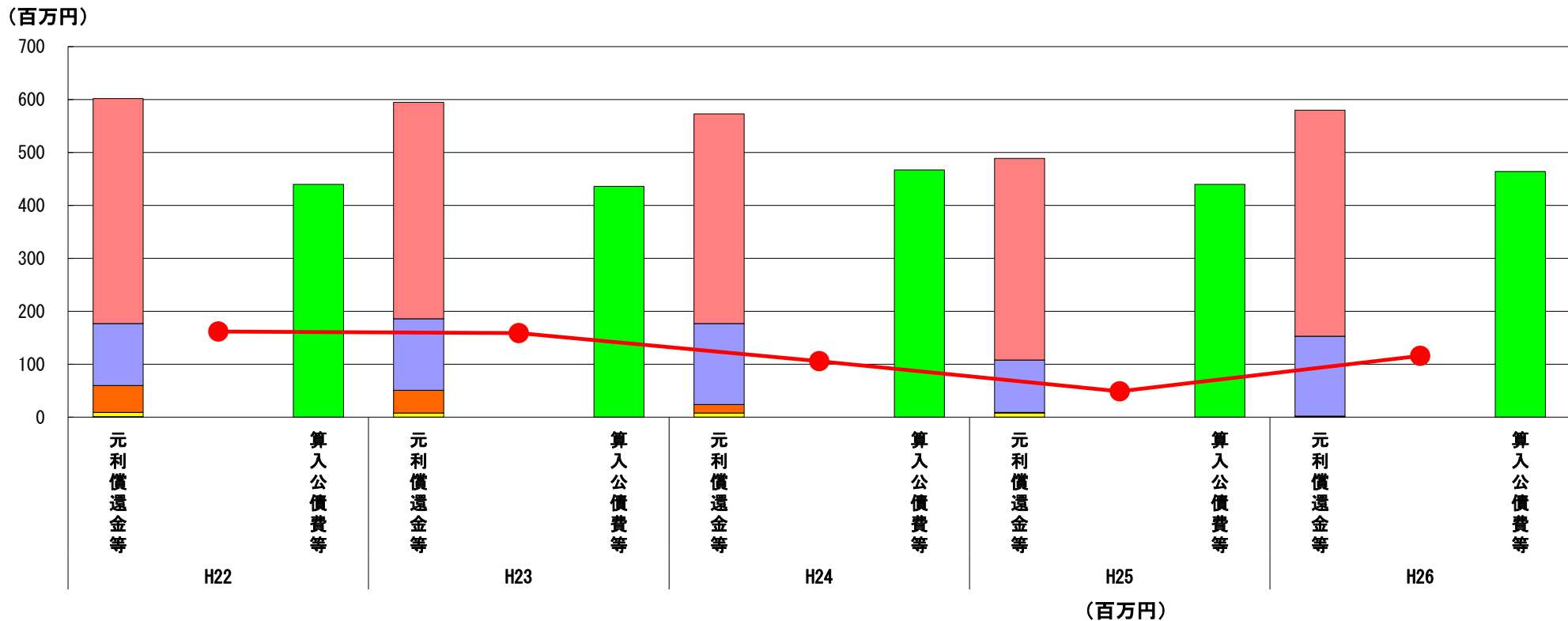


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

滋賀県多賀町



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		425	409	396	381	427
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		117	135	153	99	151
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		51	43	16	1	1
	債務負担行為に基づく支出額		8	8	8	8	1
	一時借入金の利子		1	-	-	0	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		440	436	467	440	464
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		162	159	106	49	116

分析欄

普通会計においては、算入公債費の割合も高いことから、実質公債費比率は低い水準で推移している。しかし、公営企業債に対する繰入額は今後、増加する傾向にあり、また普通会計における償還額も増加見込みであること、一部事務組合分についても、直近については、償還終了が多くなることから、負担は減少しているが、廃棄物処理施設の更新の時期でもあり新たな負担が発生し増加が見込まれることから、地方債の発行については、過度な借入れとならないよう、全ての会計において、中長期の視点からの財政運営に努める。

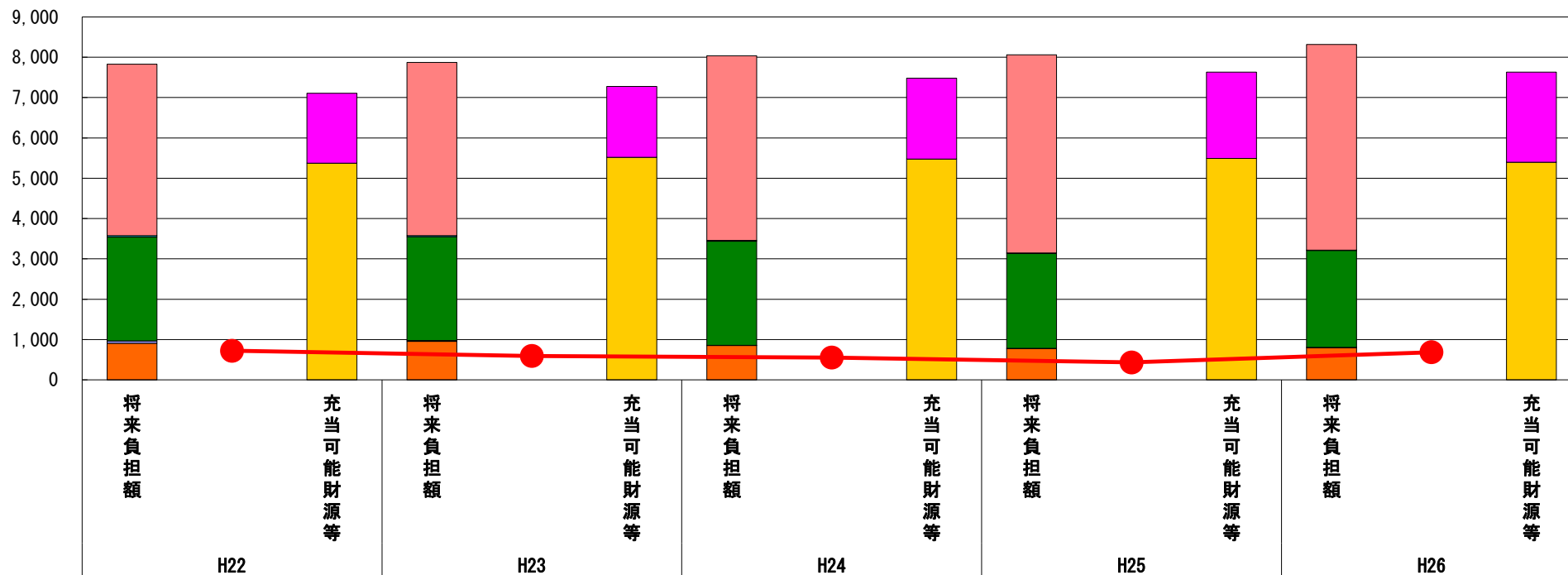
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

滋賀県多賀町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		4,254	4,296	4,578	4,915	5,096
	債務負担行為に基づく支出予定額		34	27	19	10	9
	公営企業債等繰入見込額		2,571	2,572	2,582	2,355	2,404
	組合等負担等見込額		62	20	4	3	4
	退職手当負担見込額		907	955	852	778	802
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,735	1,758	2,005	2,139	2,232
	充当可能特定歳入		-	-	-	-	-
	基準財政需要額算入見込額		5,373	5,518	5,476	5,491	5,397
(A) - (B)	将来負担比率の分子		721	594	554	432	687

分析欄

地方債残高は増加傾向にあるが、過年度における繰上償還の実施やごみ処理施設等の一部事務組合の償還費がピークを過ぎていること、充当可能基金の増加により将来負担比率は低い水準にある。今後の見通しとして、公共施設の新築および改修、橋梁長寿命化事業による起債額の増加や水道会計の公債費が増加することが見込まれるため、長期的な観点からの財政運営を行う必要がある。また、財政状況により、繰上償還を行い、将来負担への軽減を図る。充当可能基金については、建設準備基金等が含まれていることから、目的年度には減少することを十分考慮する必要がある。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。